



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

クウェイト：ムハンマド副首相兼外相のアジア歴訪

(5月31日付現地各紙)

5月31日付現地各紙は、30日よりアジア歴訪（シンガポール、日本、中国）に出発するムハンマド副首相兼外相による発言を報じている。概要は以下の通り。

1. この度のアジア歴訪は、GCC 議長国として世界のあらゆる政治・経済大国との関係拡大を目指すクウェイトの戦略の一環である。
2. クウェイトは、今年はじめにトルコとの戦略対話を実施し、現在は EU 諸国との戦略対話を実施している。今我々は「アジアの虎」と呼ばれるアジア諸国との対話の道を開く。
3. GCC・中国間では、戦略対話を開始するための協定が結ばれるであろう。GCC・ロシア間の戦略対話もクウェイトで実施される予定であり、GCC は世界で重要な地位を占めるこのような国々と戦略的関係を構築するであろう。
4. 日本では、日本・クウェイト政府間合同委員会が開かれ、二国間関係について議論する予定である。また、これまでの交渉でみられた障害を踏まえ、日本・GCC 間の FTA の早期妥結や GCC 側の事情も議論の対象となるであろう。
5. 我々は経済的戦略および経済協力の分野において「太陽が昇る地域」に頼るところが非常に大きい。この地域を重視し連携することは、GCC 諸国にとって不可欠な利益となるであろう。

【中東調査会注】

<過去2年間のクウェイト要人によるアジア訪問>

2009年5月10-12日 サバーハ首長が中国を訪問